

救急だより ピーポー



編集・発行／さつま町消防本部

〒895-1816 さつま町時吉 366 Tel 52-0119 Fax 53-0119

Web <http://119.satsuma-net.jp/>

E-mail shobo@satsuma-net.jp

発行 令和元年 9月

普通救命講習 心肺蘇生法とAEDの使い方 をマスターしよう!

大切な家族や友人が目の前で急に倒れてしまった!!
あなたはあわてず適切な対応をとることができますか?

突然、心臓と呼吸が停止した時、救急隊が到着するまでにあなたができる最大限の努力、それが**心肺蘇生法**と**AEDの使用**です。

『普通救命講習』は、3時間の講習を通して、この心肺蘇生法とAEDの使用方法について実技を中心に学ぶことができ、講習後には修了証が交付されます。

一人でも多くの町民が応急処置が行えることで、救命率の向上が期待できます。お互いの安全と安心を守るためにも、ぜひ普通救命講習を受講しましょう。

7月17日と18日の2日間にわたり、宮之城中学校2年生151人が講習を受講しました。生徒たちは、真剣な表情で一生懸命取り組んでいました。



(宮之城中学校 普通救命講習会の様子)

【普通救命講習の申込み・お問い合わせ先】

消防本部 警防課救急係 ☎52-0119

女性消防団 応急手当指導員 認定



(応急手当指導員講習の様子)

さつま町消防団女性団員5名が、合計24時間の応急手当指導員講習を修了し、6月10日付けで応急手当指導員に認定され、消防長から認定証が交付されました。

講習では、「救命に必要な知識、AEDの取り扱いや心肺蘇生法の基礎実技、止血法及び異物除去法」などの応急手当を、受講者へ分かりやすく伝えるための指導方法を中心に学び、効果測定を経て認定となりました。

新留部長は、「今後は女性消防団員ならではの優しく親しみやすい指導により、地域に密着した救命講習推進活動を行ってまいります。」と話されました。



空飛ぶ救命室！

ドクターヘリ Q&A

ドクターヘリは、医療機器や医薬品を装備したヘリコプターで、救急専門の医師と看護師が搭乗して出動し、救急現場などで迅速に傷病者の治療を開始することができます。

鹿児島県では平成23年12月から鹿児島市立病院を基地病院として運航が開始され、また、平成28年12月には奄美地域などの離島をカバーするため、県立大島病院を基地病院として2機目の運航が開始されています。

さらに、平成26年に民間の米盛病院がドクターヘリを補完することも想定した救急ヘリの運航を始めるなど、全国的にもめずらしい3機のドクターヘリが救急医療の充実を目指して運航しています。

そんなドクターヘリについて、皆さんはどれくらいご存知ですか？

Q1. ドクターヘリは誰でも要請ができますか？

A1. 一般の住民からの要請はできません。

119番通報を受け、通報内容にキーワードがある場合や、現場に着いた救急隊が傷病者の重症度などを判断して要請します。

キーワードとは？ 鹿児島県ドクターヘリの要請は「キーワード方式」を採用しています。119番通報時に医師による早期治療が必要と予想される「意識がない」などキーワードとしてリストアップされた言葉が1つでも含まれていた場合は、直ちにドクターヘリの出動要請を行うシステムです。

Q2. ドクターヘリはどこに着陸しますか？

A2. 原則として、学校の校庭や公園、運動場などあらかじめ設定した離着陸場(ランデブーポイント)に、消防機関の誘導により着陸します。

さつま町では21か所が指定されていますが、緊急の場合は離着陸場以外に着陸することがあります。

Q3. ドクターヘリを利用した場合は費用はかかりますか？

A3. 救急車と同様にドクターヘリの出動と搬送の費用はかかりません。

ただし、救急現場やドクターヘリ内で行った医療行為に対する費用は、傷病者本人の負担となりますが、健康保険が適用されます。

Q4. ドクターヘリで搬送される医療機関はどこですか？

A4. 県内にドクターヘリ搬送先医療機関として鹿児島市立病院などの基地病院以外に34医療機関が指定されています。

搭乗している医師が、傷病者の容態や搬送時間、家族の希望など考慮して選定します。また医師の判断で、救急車で搬送となる場合もあります。

Q5. ドクターヘリの乗員は？家族などは同乗できますか？

A5. 基本的に、機長、整備士、医師、看護師4名が搭乗し出動します。傷病者の家族の搭乗は医師が必要と判断し、機長が了承すれば可能となります。

また、関係する診療科の専門医、訓練中の医師や看護師が搭乗する場合があります。

Q6. ドクターヘリの運航時間は？

A6. 原則として、午前8時30分から日没前まで毎日運行します。

昼間の有視界飛行のため、夜間や悪天候などの視界不良時は運航を休止することがあります。

☆ドクターヘリの安全運航のためには住民の皆さんのご協力が必要です☆



1. ヘリコプターが着陸のため近づいてきたら、付近から速やかに離れてください。
2. 離着陸時は風圧のため、砂やほこりが舞い上がることがありますので、近くにお住いの方は窓を閉め、吹き飛ばされやすいものはできるだけ室内に入れてください。
3. 着陸後に現場で救命治療を行いますので、関係者の方以外は絶対にヘリコプターや救急車に近寄らないようにしてください。